



校長室だより

人生を明るく楽しくする、たった「ひとつ」の心がけ!



明けましておめでとうございます。例年3学期はインフルエンザに気をつける季節ですが、今年は更にコロナ感染にも気をつける2021年がスタートしました。3学期の最初、今年中込中が更に居心地よく素敵な学校になることを願い、全校で意識していきたいことを始業式(リモート)で話しました。

「半沢直樹に学ぶ、挨拶の大切さ」

おはようございます。お正月からはしばらく日が過ぎてしまいました。が、新年の最初ですので、全員で新年の挨拶をしましょう。「明けまして、おめでとうございます。」新しい年にふさわしい清々しい挨拶ができたでしょう。皆さんの明るい顔と元気な声を今朝も昇降口で聞くことができ、大変清々しい気持ちです。

さて、今日は新年にあたり1つ「挨拶」の話をして。昨年の夏「半沢直樹」というテレビドラマがブームを起こしました。堺雅人演じる半沢直樹が「倍返し!いや百倍返しだ!」と言った様々な悪だくみを暴いていくドラマなのですが、そのドラマの中でとても印象に残ったセリフがあったので紹介したいと思います。それは潰れそうになった会社(帝国航空)を銀行マンとして何とか再建させようと社内調査をしている場面で、半沢直樹が銀行の後輩に語った次のような言葉でした。



【挨拶のある企業は腐っていない】

『倒産する会社は社外の人に挨拶をしなくなっていく。会社に対する自信と誇りが無くなるからだ。挨拶のある企業は腐っていない。』

このエピソードにピンと来たのは、実は私だけではありませんでした。翌週2年2組の学級通信「一笑懸命」にこのエピソードが載せられていたのです。阿部先生に早速この話を伝え、「このエピソードいつか校長講話で使わせてもらいたいけどいいですか?」という話をしました。あれから約半年、なかなか機会がなかったのですが、新年なので丁度よい機会かと思い紹介することにしました。

中込中では今、校風・安全委員会の皆さんが、毎週月・水・金と挨拶運動をしています。先日12月に行った学友会総会の議案書「校風・安全委員会」の現状分析には、今年度の挨拶運動の成果として「自分から挨拶してくれる人が増えた」、課題として「まだ、全員が返せていない」と書かれていました。私も校風・安全委員の皆さんと一緒に毎朝挨拶をして来ましたが、だいぶ大きな声で挨拶してくれる人が増え、更にもっと早く大きく挨拶してくれる人も出てきました。そして、そんな挨拶をしてくれる人から毎朝元気をもらい、更にその人の名前も自然と覚えてしまいました。また、校内ですれ違った時に「こんにちわ!」と元気に挨拶してくれる人も覚えました。

挨拶は人間社会の潤滑油です。挨拶がきちんとできることは、どの様な会社でも求められることですし、自営業でも顧客や取引先の方への挨拶は欠かせません。社会人として身につける基本中の基本です。挨拶がきちんと出来るだけで、社会に出てその人の印象は全く変わります。ぜひ、3学期は明るく、爽やかな「挨拶」を意識して日々の生活を過ごしてみましよう。

素敵な挨拶のポイントは2つあります。1つ目は「**相手より先に**」、2つ目は「**相手より大きな声で**」です。相手に伝わっていない声では「挨拶」とは言えません。それは「ひとりごと」です。最初は少し勇気が必要かもしれませんが、自分の人生を明るく楽しくする習慣になることは間違いありません。中学校生活でぜひ身につけてほしい習慣です。今すでにできている人も沢山います。その人は更にその「明るい挨拶の輪」を仲間や地域に広げましよう。今少し声が小さい人は、相手に元気を与える声を発してみましよう。「朝から元気な声なんて出せないなあ」という人もいることでしょう。「**元気は出るものではなく、出すものです**」これは私が毎日使っている日めくりカレンダーの3日目に書いてある言葉です。「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しい」も似ている言葉ですね。「自分の想い」で人生は変わっていきます。皆さんひとりひとりの想いが爽やかな挨拶となり、中込中を更にいごちのよい、素敵な学校に必ず変えます。私もがんばります。一緒にやりましよう。

「挨拶」は中込中の学校目標「**笑顔があふれ、学びと活動がある学校**」の基になるとても大事なことだと思い、中込中の更なる発展を願って新年にこの話をしようと思いました。3学期もコロナ感染予防は続き、楽しいこと、苦しいこと、つらいこと等沢山あるかもしれませんが、いつも「爽やかな挨拶」を心がけながら、「ワクワク」と「メリハリ」をキーワードに1日1日を積み重ねていきたいと思います。

以上で3学期始業式の話が終わります。

相手より
先に
相手より
大きな声で

【挨拶の2つのポイント】

昨年のお正月に、今のコロナ感染状況を予測した人はほとんどいなかったと思います。昨年2月末の緊急事態宣言からもうすぐ1年が過ぎようとしています。事態は大きく変わっていません。ならば、今の状況のなかでできる私たちの生き方を創り出していくしかありません。この様な時こそ「ピンチはチャンス」の精神です。それにつけても「**コミュニケーション能力**」は大切で、その基礎となるのは「**挨拶**」です。2学期末に行った学校評価アンケートにも「挨拶」についてのご意見をいただきました。ぜひ、ご家庭でもお子さんと共に明るい挨拶を交わしながら、素敵な1年をスタートしていただければと思います。

コロナの心配事に関わらず、学校へのご意見、ご要望等ありましたら、右の連絡先へお問い合わせ下さい。丑年がゆっくと始まりました。1歩1歩着実に、昨日の自分を更新していけるように、子ども達と共に歩んでいきたいと思っています。今年もご理解ご協力よろしく願い致します。
(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせ
などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876